

ぎんまい長岡京

長岡京吟詠会 会報
第31号 令和3年9月1日
発行 長岡京吟詠会
会長 本庄賀秀峰

全国吟詠コンクール

近畿決勝大会(財団)にて入賞!!

8月1日に実施された表記大会にて
以下のお二人が入賞されました。

幼年の部 高橋拓来 (秀正会) 入賞
一般二部 米山裕子 (秀正会) 入賞

おめでとうございます。

また、暑い中、お疲れさまでした。(事務局敬称略)

昇格情報 昇格おめでとうございます

8月1日付けで2名の方が「一級」に昇級されました。
お2人とも長峰②詩吟クラブ所属です。

岡本澄子、真野早苗 (事務局敬称略)

愛連 吟士権者決定詩吟大会 第一部に出場!!

9月19日に実施される表記大会に、

米山裕子、市丸知佐子、高橋周子の3名が
出場されます。コロナ感染対策を十分に
持ち前の実力を発揮してください。(事務局 敬称略)

予定の変更について

府連コンクール(9/5予定) 中止決定

5月から9月5日に延期になっていた府連コンクールは中止になりました。長い間準備をしてこられた出吟者の方、役員を依頼されていた先生方、残念な結果になりましたが、ご理解頂き、今後ともご協力よろしくお願いたします。(事務局)

第30回記念吟士権大会(9/11予定) 延期決定

全国的な新型コロナの爆発的な感染拡大、そして各地での緊急事態宣言発出等の事態を受け、今大会は一旦中止し来年度に延期することが決定されました。具体的な日時は未定です。実施内容は基本的には変更しないで、プログラムもそのままの予定です。十分な準備期間を活用し、更に、中身の充実を図りましょう。なお、配布済の プログラムは来年もそのまま使用しますので、大切に保管をしておいてください。

訃報

山本賀秀雲先生が、8月22日未明にご逝去されました。先生は、私たち長岡京吟詠会の副会長 兼 事務局長として、会の充実発展に、長年、多大な貢献をしてこられました。また、吟詠の普及拡大にも尽力され、色々新しい企画を自ら立案、実践してこられました。よく、「自分で何をするか考えて!」と言われていました。先生のこの言葉を胸に、今後の活動に活かしたいものです。先生は、賀堂流総本部事務局、京都本部の事務局長そして府連の事務局員としても吟詠界にも多大な貢献をされました。本当に長い間有難うございました。先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

故 千阪先生の旧著「漢土故事物語」を解説(9) 天知る、地知る、子知る、我知る

楊震四知

小林賀清風

孝安皇帝の時代に楊伯起(楊震)という人がいた。彼は学徳があり、嘗て生徒を集めて教授しているとき、一羽の鳥が蛇に似て全身黄色で黒の斑点のある魚を銜えて講堂の前に降りてきた。塾長はこれを見て、これは師の楊伯起が三公(大尉・司徒・司空)となられる瑞兆であると言ひ、楊伯起に向かって、先生はこれから高官に昇進されるでしょう、と言った。果たして、楊伯起は太守に任命された。任地に赴くために昌邑という町を通った時のことである。この県の王蜜は、むかし、茂才に推挙した人間だった。深夜大金を懐にして、楊伯起の邸宅を訪ね、これを贈賄しようとしたが、決して受け取らなかった。王蜜は「深夜であつて誰一人これを知る者はいないから、この金を受け取ってくれ、と促したが、「天これを知り、地これを知り、君も知り、我も知る」どうして知る者がいないといえましようか、と言って断固として受け取らなかった。天知る、地知る、私と君が知っている。人の目に届かないところで不正を働いても、必ず露見することの故事。「楊震四知」として今に伝わる。



楊伯起(楊震)

山本先生の訃報に接して

福岡賀秀泉

山本賀秀雲先生(仙遊悲愁感懐)

千歳長岡都邑天 千歳長岡都邑の天、
仙遊吟友涙流然 仙遊の吟友 涙流然。
秀英才士賢仁少 秀英の才士 賢仁少なり、
突然訃報情更憐 突然の訃報 情更に憐れむ。

大意)

千古の昔。都であった、長岡京の天地、若くして急に仙遊した吟友。悲しく哀れで、涙が止まらない。まだ若く、秀才の能力、なんでも出来る稀な能力の持ち主でした。突然の訃報に驚き、過去の思い出が多く。悲しみと、憐みがこみあげてきます。 令和三年八月二十二日

福岡賀秀泉先生は、葬儀の納棺の際に漢詩をご披露されました。その漢詩を掲載させて頂きました。(事務局)

R3/9月・10月の予定



薬生の彼岸花

残念!! コロナで、また、中止・延期です。

長岡京吟詠会

9月1日(水)	14:00	師範会	中止
9月15日(水)	13:00	執行部会	公民館講座室
9月15日(水)	14:30	師範会	公民館講座室
9月22日(水)	14:00	執行部会	公民館学習1
9月26日(日)	13:30	後期昇格審査会	公民館講座室
10月6日(水)	14:00	師範会	公民館講座室
10月20日(水)	15:00	師範会	産文3F 第2会議室
10月31日(水)	14:00	執行部会	公民館実習室

総本部

9月11日(土) 賀堂流第30回吟士権者大会 延期

府連・府総連

9月5日(日) 京都府連吟士権者決定詩吟大会 中止

9月19日(日) 愛連一部優勝者決定大会 尼崎市総合文化センター

10月3日(日) 愛連二部優勝者決定大会 尼崎市総合文化センター

後期昇格審査会

9月26日(日) 表記審査会が実施されます。

初伝に2人、中伝に1人、奥伝に1人、

師範代に2人、師範に1人 の7人が受審されます。

コロナ禍、応援者もなしですが、感染対策をして、

リラックスして、日頃の実力を発揮してください。

私の古里「山の分校」

横山賀秀邦



二つの街の境に接する村に私の通った小学校の分校がありました。本校は1時間以上も歩いた山の奥にありとても通えないのでできたものと思われま。校庭からは瀬戸内海が絵の様に美しく眺められ別府航路の船の波しぶきも見えました。校舎は教室三つと小さな職員室、生徒数が少なく入学した時は1~3年の複々式の授業で、3年生の習っている99なども、すぐに聞き覚え、姉三人が教え込んでくれたものですから1年生の授業は全く楽しくありません。ある日のこと、母に言いました『わたし学校やめるわ』びっくりした母が、父に言ったものですから、叱られました。『中学校まで行かないと、国から罰金がかかる』。パッキンということばが、なぜか恐ろしくてじゃ行くわとあっさり引き下がったものです。学芸会の近づく季節になると、赤と黄色の渦巻きの日舞用の傘で道路を舞いながら通学していました。上の姉二人が、街に日舞を習いに行っていて、帰ってくると私に色々教えるものですから近所の誰かれなく用事で来られた人をつかまえては、帰る前に一曲踊りますから、見て行くと座敷でいつも歌いながら踊っていました。

(つづく)

小林賀清風先生からのお手紙

『燕の巣』



一昨年に壊されたままの「ツバメの巣」に、今年6月3日、突然、2羽がやってきて巣作りを始めました。狭いガレージに入り泥をふくんで懸命な働きで3児を生みました。従来の失敗を考え、天敵を防ぐのに「網」を上手に張り巡らせながら、子を育てる親に気を配り漸く、辛勤36日目(7月8日)元気に巣立ちしました。

妻も非常に喜び、子どもを育てた歳月を顧み「人と燕が同化して、生き生きとした抒情」が沸いたことでしょう。巣立ちの日も、その翌日、翌々日も、親鳥とその子どもたち五羽が飛んできて、懐かしいのか、お礼を言っているのか盛んにツチツツチッと鋭い声で鳴き、手を振って応えると、一層高い鋭い声が響き、来年も亦元気な姿で帰ってくることを望んでいる。

参考) 白居易に『燕詩、^{りゅうそう}劉叟に示す』の漢詩あり

梁上 雙燕有り 翩翩たり雄と雌と
泥を銜む 兩椽の間 一巢に四児生ず
四児日夜に長じ 食を索めて聲孜孜たり

(以下略)

補足 現代語訳) 梁の上に二羽の^{つばくろ}燕が住み、身軽(翩翩)に飛び交いながら雄と雌が、泥をくわえてきて、二本のたるき(兩椽)の間に巣づくりをし、中に四羽の雛(ひな)を生んだ。四羽の雛は日ごと生長し、食物を欲しがって、ピーピー(孜孜)と声をあげて鳴く。

『大窪由郎のブログ』による (事務局)

投稿

シリーズ「吟道と剣道」
その21

長尾賀秀剣

【指導者の姿】 剣道の指導者の心得と共に指導者のあり方として、次の項目が挙げられています。

- ①自己の修養に努める。
 - ②確固たる信念をもって指導にあたる。
 - ③愛情を持って、誠心誠意指導にあたる。
 - ④教えることに喜びを持つ。
 - ⑤指導を受ける者とともに修練する。
 - ⑥技能の向上に努力する。
- 以上ですが、どの道も指導者は常に自己の修業を欠かさず、自分を磨けということですね。

第30回記念大会関連の連絡事項

記念大会の協力金賛同者のみなさん、ご協力ありがとうございました。お礼に記念品を配布しました。また、協力金賛同者ならびに関係者にプログラムも配布しましたので、お受け取り下さい。(事務局)

『ぎんまい長岡京』編集室

長尾賀秀剣 西本 章

※連絡先 長尾賀秀剣

Tel: 090-9095-3751

Email: knagao69@gmail.com

